

# JIS

UDC 547.412.722.22

K 1560

## 1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン (HFC-134a)

JIS K 1560-1994

平成 6 年 2 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン K 1560-1994  
(HFC-134a)

## 正 誤 票

ページ	位置	誤	正
16	構成表の氏名欄の 1行目	渡 辺 康 一	渡 部 康 一

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

1994.7 日本規格協会 発行

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成6.2.1

官 報 公 示：平成6.2.8

原案作成協力者：日本フロンガス協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学製品部会（部会長 中島 利誠）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン  
(HFC-134a)

K 1560-1994

1, 1, 1, 2-Tetrafluoroethane (HFC-134a)

CH<sub>2</sub>FCF<sub>3</sub> FW : 102.03

1. 適用範囲 この規格は、工業用の1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン(HFC-134a)について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS K 0050 化学分析方法通則

JIS K 0068 化学製品の水分測定方法

JIS K 0114 ガスクロマトグラフ分析通則

JIS K 8001 試薬試験方法通則

JIS K 8161 ジクロロメタン(試薬)

2. この規格の中で{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって参考として併記したものである。

参考1. HFC-134aの沸点は-26.2℃(0.1013 MPa)、飽和液密度は1.22 g/mL (20℃)、1.37 g/mL (-26.2℃)である。

2. 規格名称の( )内は、従来フロンと総称されフロン134aなどの記述が用いられてきたが、ここではHydrofluorocarbonの略称HFCを用いHFC-134aとした。

2. 品質 1, 1, 1, 2-テトラフルオロエタン(HFC-134a)の品質は、3.及び4.によって試験したとき、表1の規定に適合しなければならない。

表1 品質

項目	品質
外観	無色で濁りがないこと
臭気	異臭がないこと
純度	99.6面積%( <sup>1</sup> )以上
蒸発残分	0.01%以下
酸分(HClとして)	0.0001%以下
水分	0.002%以下

注(<sup>1</sup>) ガスクロマトグラフ(熱伝導度検出器)による面積百分率である。

### 3. 試料採取方法

3.1 試料採取方式の区分 試料採取方式は、各品質項目ごとの工程能力指数(C<sub>p</sub>)(<sup>2</sup>)に応じて表2の区分とするが、外観、臭気は計量的評価が困難なため、3.2試料採取(I)による。

工程能力指数は、表1に規定するすべての品質項目について求め、それぞれに試料採取方式を決める。